

平成28年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目

(職階)

准教授 広瀬 義朗

取組状況	
教育	<p>1. 新科目の国際社会と文化 I (3年生、選択科目)では、1年生の地理歴史 I (主に地理)の復習とi-PADを使ったアクティブ・ラーニング形式の授業を展開できた。</p> <p>2. 公民 II (3年生、必修科目)では、日本年金機構から外部講師を招き、年金に関する講演を依頼し、学生の年金に対する意識を高めた。</p> <p>3. 中小企業経営論(4年生、選択必修)では、講義と演習を併用し、講義では東京中小企業同友会大田支部から4人の経営者を招き、経営にまつわる貴重な話をして頂いた。また演習では、チームを編成し、各チームで興味のあるテーマを設定し(例:品川区の産業)発表してもらった。学生のアンケートを読む限り、高い満足度を得られた。</p> <p>4. 公民 II (3年生、必修科目)では、講義の傍ら品川区主催の品川ビジネスコンテストに応募し、2年連続個人での最優秀賞を受賞した。</p> <p>5. 公民 II (3年生、必修科目)では、冬季休業中の課題として参議院70周年記念論文に応募する論文(2,000字程度)を執筆してもらった。その甲斐あって電気電子コースの学生が7,000通以上の応募の中から、見事佳作を受賞した。</p>
研究	<p>1. 著書を執筆                      広瀬 義朗(2016a)「所得税および社会保障負担構造の国際比較」                      宮本悟編『フランスー経済・社会・文化の位相』中央大学出版部叢書66、1-40ページ。                      (査読論文1件)。</p> <p>2. ニュースレターを執筆                      広瀬 義朗(2016b)「我が国の2016年参議院議員通常選挙とカナダの1993年下院総選挙」日本カナダ学会『ニュースレター』第104号、3-6ページ。</p>
社会貢献	<p>1. 昨年度から地元青物横丁商店街との連携で産技祭のポスターをメインストリートに40~50枚張らせて頂いた。昨年度の青物横丁商店街のみならず、今年度は地域の町内会との交流もすることができた。来年度は青物横丁商店街と地域の町内会の方々に産技祭にお越し頂きたいと考えている。</p> <p>2. 東京中小企業同友会との交流を深めることができた。第一に、4年生の中小企業経営論では、上の教育の欄で述べたように4人の経営者にお越し頂き、講演をして頂いた。第二に、同友会の協力により学生3人を大連に派遣することができた。これは、本校と同友会との産学連携の成果といえる。</p>